表題：麦の追肥（穂肥）について（2月22日配信）

豊肥振興局からのお知らせです。

茎立期（幼穂長2～5mm、幼稈長20mm）は、穂肥の施用適期です。

【施用量】

・トヨノホシ･･･窒素成分3kg（化成肥料16-0-16なら20kg）

・ニシノホシ･･･窒素成分2kg（化成肥料16-0-16なら15kg）

・チクゴイズミ･･･窒素成分3kg（化成肥料16-0-16なら20kg）

・ビール麦（サチホゴールデン）･･･施用しない（タンパクを上げすぎないため）

穂肥の施用により子実が充実し、収量向上につながります。

麦の生育を見ながら適期に穂肥を施用しましょう。

大分県豊肥振興局

TEL 0974-63-1301